



①-1天城ドーム

第30回静岡県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会「ゲートボール競技大会」が、伊豆市上船原「天城ドーム」で開催されました。

ドームの周りには、新緑が目眩を感じさせる樹々がそびえたち静寂さを漂わせていますが、一步ドームの中に足を踏み入ると、そこは別世界のように元気はつらつとした156名の選手の練習風景がありました。

10:10から開会式が始まり、村松徳夫大会副会長挨拶、しずおか健康長寿財団 大石玲子常務理事の挨拶のあと、日頃鍛えてきた選手26チームの皆さんが、7コート 78試合の熱戦を繰り広げました。



2練習風景

### 参考：〈大会開催趣旨〉

本格的な長寿社会を迎え、あらゆる世代の県民が自らの問題として長寿社会への理解と認識を深めるためには、世代を超えた連携と交流の輪が必要である。

このため、高齢者をはじめ広く県民の参加を得て、スポーツを通じてふれあいと交流を図る「静岡県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会」を実施します。

競技は、(公財)日本ゲートボール連合公式競技規則にのっとり、各コート4チームによるリーグ戦方式で実施されました。

## 試合開始



3-1試合開始



3-2

10:30試合開始です。  
コート・インサイドライン縦15メートル、横20メートルにセットされた7コートに分かれた各選手は、各自用意したスティックを用い、日頃鍛えた技をチーム力に変え戦っています。

## 大会最高齢者大活躍



[②-1DSC 0039](#)

◇男性最高齢者 岡田 茂さん(95歳)



[4-2最高齢プレイ](#)

◇女性最高齢者 板垣せつ子さん(88歳)

岡田 茂さんは、ゲートボール歴30年と超ベテランで茨城ねんりんピックの出場経験があり、チームの要として活躍しています。本日は、選手として試合に出場する傍ら、主審判員としても活躍していて、95歳とは思えない試合裁きをしています。話をお聞きすると朝・昼・晩ウォーキングを欠かさない、毎晩腕立て伏せを行っているとのこと。見習いたいですね。

板垣せつ子さんは、第1試合目は他チームの審判員として試合進行を手助けし、第2試合目、所属の桂谷チームは御殿場クラブと対戦し、板垣さんの健闘もむなしく9対22で敗れました。この健脚がどのように鍛えられているかを伺うと、家の近くにある遊歩道でウォーキングを欠かさないこと、週2回のゲートボール練習とのこと。これらが若さを保つ秘訣であると感じました。



[5-1DSC 0050岡田茂掛川チーム](#)

掛川チームのみなさんと岡田茂さん

※皆さんのお元気な姿を写真をクリックし、拡大してご覧ください。

みなさん本当に素晴らしい表情で試合に臨んでいました。



[5-2板垣さん桂谷チーム](#)

桂谷チームのみなさんと板垣せつ子さん



#### [5主審 岡田茂](#)

岡田 茂 主審判員の雄姿を写真をクリックし、拡大してご覧ください。95歳とは思えない試合裁きは筆者も驚いています。  
齢を重ねても かくありたいと日頃の鍛錬の重要さを痛感いたしました次第であります。



#### [5-2昼食](#)

午前の試合を終えチームメイトと試合結果を語りながらの昼食時間は、一番の楽しみとなっています。  
ここでの会話が午後からの試合に良い結果をもたらすのではないのでしょうか！



#### [8-1](#)

陰で大会を支えている静岡県ゲートボール協会役員の皆さん(写真上左)は、休む暇もなく各コートからの試合結果を手際よく処理し、皆さんの待つ結果速報(写真上右)を掲示板に貼り出しています。



#### [8-2成績](#)



#### [9-1優勝藤枝クラブ](#)

78試合の熱戦が繰り広げられ26チームの頂点に昇りつめたのは藤枝クラブ(写真上左)で、総合得点57点で優勝しました。準優勝は総合得点55点の御殿場クラブB(写真上右)です。  
3位は横天チームと大仁チームでした。

選手の皆様お疲れ様でした。受賞された皆さんおめでとうございます。



#### [9-2準優勝御殿場B](#)

中伊豆地区担当 生きがい特派員 安藤智章（取材：渡邊英機）